



特集

2

ここがポイント! Oracle DB Oracle meets .NET 開発

第10回

WebサービスとClickOnceによる配布

アプリケーションの 配布を極める

大田 浩

OTA, Hiroshi

日本オラクル株式会社

Oracle Direct テクニカルサービス部

はじめに



前回は、C/Sアプリケーションの配布方法について解説しました。今回は、n層アプリケーションおよびWebアプリケーションの配布について解説します。

n層アプリケーション/Webアプリケーションの場合は、中間層であるApplicationサーバーもしくはWebサーバーに配布します。Oracleデータベ

スへのデータアクセスはこの中間層で行なうからです。

今回は、ASP.NETを使用したWebアプリケーションと、ASP.NET Webサービスを使用したn層アプリケーションの配布について説明します。

n層アプリケーション/ Webアプリケーションの配布



「XCOPYによる配置 (デプロイ)」はASP.NETの特性としてよく取り上げられるポイントのひとつです。ASP.NETアプリケーションを配置するにあたっては、かつて行なっていたようにCOMコンポーネントのレジストリへの登録やIISへの面倒な設定などは一切必要ありません。仮想ディレクトリ配下の一連のファイル群を所定の場所にコピーするだけで、アプリケーションに必要なファイルのすべてを配置できます。

しかも、Visual Studio 2005 (以下VS2005) からはGUIのウィザード形式を利用し、XCOPYによる配置よりも簡単にWebサーバーに配置できます。

では、実際にASP.NET Webアプリ

ケーションをVS2005で配置してみましょう^[注1]。

▶ サンプルアプリケーションの作成

まずは、配布元となるASP.NETサンプルアプリケーションを作成します。このサンプルアプリケーションは、ODP.NETを使用してOracleデータベースに接続する簡単なユーザー認証アプリケーションです。

手順-1 ▶ テストデータの作成

SQL*PLUSを起動し、ユーザー情報を格納するためのテーブルとサンプルデータを作成します (リスト1)。

SCOTTユーザーが存在しない場合は、SYSTEMユーザーでログイン後に、リスト2を実行し、SCOTTユーザーを作成してください。

手順-2 ▶ 新しいWebサイトの作成

VS2005を起動し、メニューから「フ

注1) .NET Framework 2.0に対応したODP.NETは、2006年4月時点ではベータ版として、次のURLよりダウンロード可能です。

<http://www.oracle.com/technology/tech/dotnet/index.html>

レベル >>> Level

言語 >>> Language

- Visual Basic
- Visual C#

ツール >>> Tool

- Visual Studio 2005 Professional
- Oracle 10g Release 2 Enterprise Edition
- Oracle Data Provide for .NET

ファイル」-「新規作成」-「Webサイト」を選択します。

「新しいWebサイト」ウィンドウが表示されたら、以下の情報を入力します (図1)。

- ・テンプレート：ASP.NET Webサイト
- ・場所：ファイルシステム
- ・言語：任意の言語
- ・プロジェクトの格納フォルダ：C:\¥Test¥OracleTestSite

手順-3 ▶ 「ODP.NET」の参照を追加

ODP.NETを利用できるように、参照の追加を行ないます。VS2005のメニューから「Webサイト」-「参照の追加」を選択すると、「参照の追加」ウィンドウが表示されるので、「Oracle.Data Access」を選択し、[OK] ボタンをクリックします (図2)。

手順-4 ▶ デザインとコードの記述

VS2005の「ツールボックス」から「ログイン」-「LoginName」を選択し、「Default.aspx」のデザインウィンドウにドラッグ&ドロップします (図3)。これで「Default.aspx」のデザインウィンドウに「[ユーザー名]」と表示されるので、続けて「さん、ようこそ!!」と直接入力しておきましょう (図4)。

続けてログイン画面を作成します。

VS2005のメニューから「Webサイト」-「新しい項目の追加」を選択します。新しい項目として、「Webフォーム」を選択し、名前は、「login.aspx」として「追加」ボタンをクリックします。

追加されたWebフォームの「login.aspx」のデザインウィンドウを開いたら、VS2005の「ツールボックス」の「ログイン」から「Login」コントロー

リスト1：テーブルとデータの作成

```
C:\>sqlplus scott/tiger
SQL> CREATE TABLE APPUSER(
  2  username VARCHAR2(20) PRIMARY KEY,
  3  password VARCHAR2(10)
  4 );
表が作成されました。

SQL> INSERT INTO APPUSER(username,password)
  2  VALUES ('SCOTT','TIGER');
1行が作成されました。

SQL> commit;
コミットが完了しました。
```

リスト2：ユーザーの作成

```
SQL> CREATE USER scott IDENTIFIED BY tiger;
ユーザーが作成されました。

SQL> GRANT connect,resource TO scott;
権限付与が成功しました。
```

図1：新しいWebサイトの情報入力 (言語はVBを選択しています)

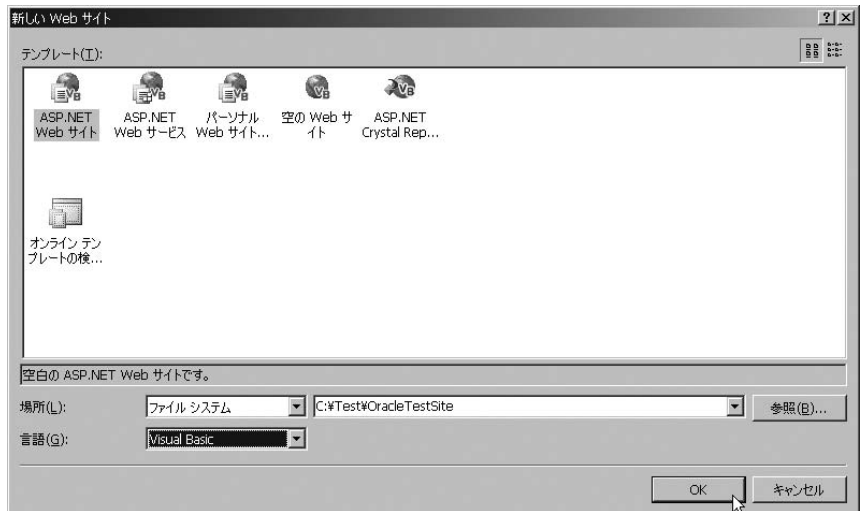


図2：ODP.NET参照の追加

